

I 現状と課題

- ✓ 労使共にリスキングの必要性は認識しているが、実行に向けて様々な課題に直面している
(主な課題)
 - ・人材育成の計画策定や仕組みづくりが出来ていない（人事評価、目標管理、従業員のインセンティブ等）
 - ・経済的、時間的余裕がない
 - ・魅力的な教育メニューや相談体制が不十分（見つけ易さや選び易さを含めて）
- ✓ 企業規模が小規模になるほど人材育成の必要性を感じておらず、デジタルスキルの向上も課題として捉えきれていない。

II 基本目標

豊かさ共創社会の実現に向け、労使や教育機関、行政などが連携して「豊かさ共創基盤」を構築し、労使が共益関係を育む中で、働き手がスキルアップし企業の収益が上がり賃金も向上する、という好循環を山梨で実現する

III 豊かさ共創に向けた取り組みの方向性

1. 労使の「豊かさ共創」に向けた関係構築の後押し

- ・労使による「能力開発→収益向上→適正配分」の認識共有

2. 企業の収益向上を促すリスキングの支援拠点の整備

- ・企業側、働く側にとってスキルアップしやすい体制整備
- ・全て地域で均質的に学びの情報が入手できる環境整備
- ・企業ニーズに応じたDX等のスキル、ハイエンドな特殊技術などメニューの充実
- ・受講者のインセンティブに繋がる能力開発の見える化（評価）

3 県民の学びの裾野を広げ「豊かさ共創」社会を実現

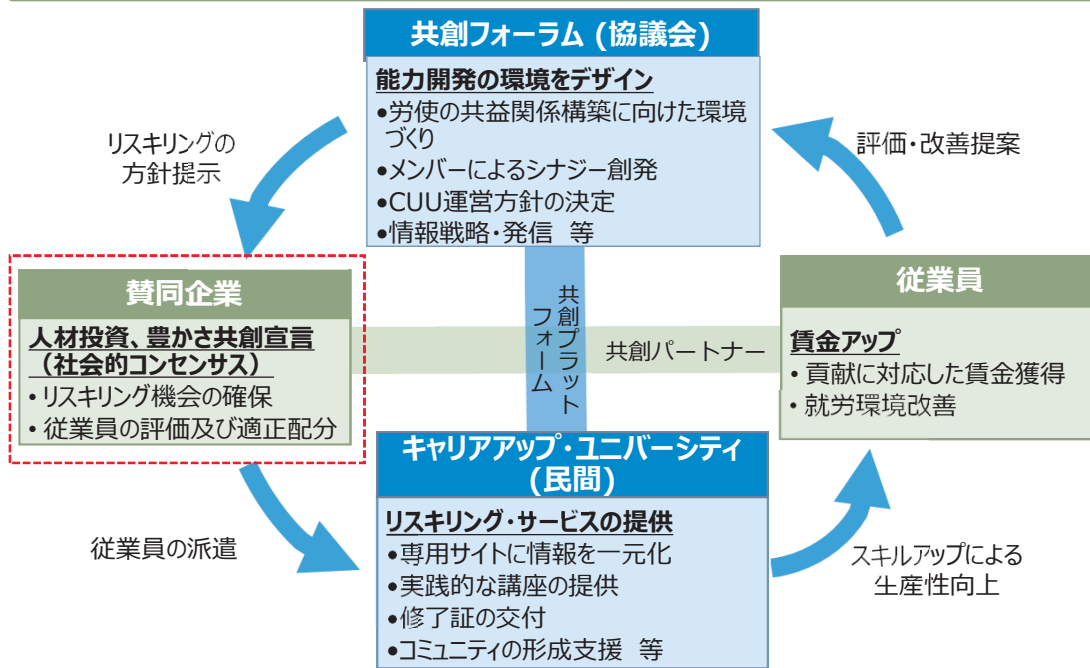
- ・メディアと連携した県民運動の展開
- ・人材投資に費用や時間も掛かるため企業に対する公的支援
- ・幼児教育から大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる教育環境の整備

IV 3つのアクション

（1）循環サイクルの構築 ～ 真の豊かさを実現するために労使の共益基盤づくりを後押し ～

【プロジェクトの方向性】賛同企業にリスキングサービスを提供し、賃金アップという形で労働者に分配する循環サイクルを様々なステークホルダー連携の下、構築する。

循環サイクルの構築 ～ 豊かさに向けた労使の協働 ～



循環サイクルを支えるステークホルダー ～ 豊かさの実現に向けて ～

団体等	役割
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の共有と必要な能力・スキルの明確化 ・能力開発に対する時間面・費用面の配慮 ・従業員に対し収益を適正に配分
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なスキルアップと企業収益への貢献
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携による教育サービスの提供
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・能力開発の経済的・社会的インセンティブの提供 ・経営者の人材投資への意欲喚起 ・豊かさ共創基盤構築に向けた周知・普及
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の人材投資への意欲喚起 ・産学連携による教育サービスの提供
労働団体	<ul style="list-style-type: none"> ・労働組合を通じた豊かさ共創基盤の周知・普及
金融	<ul style="list-style-type: none"> ・能力開発の経済的インセンティブの提供
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・成功事例を広報し全県民運動を展開

(2) リスキングの推進 ～ 働き手の成長（付加価値向上）を通じて企業の発展を実現 ～

【プロジェクトの方向性】労働者のスキルをアップデートするリスキング・サービスを展開し、企業のイノベーションと生産性向上を後押しするプラットフォームサイトを構築する。

キャリアアップ・ユニバーシティの設立（魅力的な講座を提供して受講者を増やし、自走による運営基盤に移行していく）

目指すべき人材像 - 山梨に新たな息吹を -

多様な他者と協働しながら、新たな価値を創造し山梨の未来をリードする6つの人材タイプを育成

- 【タイプ1】新ビジネスを創造するDX推進人材
- 【タイプ2】ものづくりの未来を支える現場変革人材
- 【タイプ3】山梨の豊かさを伝えるホスピタリティ・共感力人材
- 【タイプ4】山梨に風を起こす新産業プロデュース人材
- 【タイプ5】革新的な事業を立ち上げるイノベーター人材
- 【タイプ6】中小企業の高度化に向けた経営戦略人材

提供するサービス - リスキングをより身近なものに -

学びの機会
の一元化

- ワン・ストップ申請手続き等のオンライン化
- ワン・テーブルリスキング情報をサイト上で一元化
- ワン・ツー・ワン企業の相談窓口の一元化

実践的な
講座の提供

- 既存メニューを体系的に提供
- DXや経営など新たな講座を順次提供
- PDCAサイクルの構築

修了証の
交付

- 修了証の評価に繋がる基準の作成・検討
- 豊かさ共創フォーラムの修了証を交付
- 修了者のキャリアをサイトに登録

コミュニティの
形成

- 受講者同士が刺激し合う環境整備
- 異業者交流を通じた新たな価値創造や地域課題の解決

(3) 豊かさ共創の全県的な普及 ～ 誰一人取り残さずキャリアアップできる山梨を目指して ～

【プロジェクトの方向性】意欲ある人材の育成と支援の充実によって県民の学びの裾野を広げ、「豊かさ共創」社会を実現する。

「豊かさ共創」に向けた県民運動の展開

第3回会議で議論

企業や働き手のリスキングへの支援

第3回会議で議論

豊かな人生のために自らチャレンジし、学ぶ人々を支援

幼児～小中学生～高校生

山梨県の豊かな自然環境や県内で働く人々と触れ合い学びながら、**自ら考えチャレンジすることの楽しさを知る**

大学生

地域の企業と一緒に共創しながら、山梨県の地域課題や地域の魅力を知り、**自らの夢やビジョンを構想していく**

社会人

山梨県の将来の産業や人材を想像し、豊かな未来を描きながら、**自らに足りない技能・知識を身に着けていく**

シニア世代

人生100年時代を豊かに生きるために、これまでの知識・経験を活かしながら、**新たな知識を学びチャレンジしていく**